

— 青と緑の豊かな活力ある村 —



広報

おんな

平成6年4月15日発行 No.169



## 平成6年度事業実施計画表

番号	事業名・工事名	事業ヶ所	補助・単独	事業担当課	村営・団体営	新規・継続
1	村道希望が丘線維持工事	名嘉真	単独	建設課	村営	新規
2	伊武部原排水改良工事	名嘉真	単独	建設課	村営	新規
3	村道大堂線排水改良工事	安富祖	単独	建設課	村営	新規
4	浜原農道舗装工事	安富祖	単独	建設課	村営	新規
5	安富祖川河口導流堤設置工事	安富祖	単独	建設課	村営	新規
6	安富祖小中学校併行防音機器工事	安富祖	補助	教育委員会	村営	新規
7	村道喜瀬武原線維持工事	喜瀬武原	単独	建設課	村営	新規
8	福地原排水改良工事	喜瀬武原	単独	建設課	村営	新規
9	喜瀬武原小中学校屋外倉庫工事	喜瀬武原	単独	教育委員会	村営	新規
10	太田村営住宅道路工事	太田	単独	建設課	村営	新規
11	恩納保育所建設工事	恩納	補助	住民課	村営	新規
12	野原農道舗装工事	恩納	単独	建設課	村営	新規
13	恩納海岸環境整備工事	恩納	補助	建設課	村営	新規
14	恩納漁港消波ブロック設置工事	恩納	単独	建設課	村営	新規
15	観光案内板設置工事(万座毛)	恩納	単独	経済観光課	村営	新規
16	前川改修工事	谷茶	補助	建設課	村営	新規
17	富着船揚場舗装工事	富着	単独	建設課	村営	新規
18	変電施設変圧器増設工事(前兼久漁港)	前兼久	単独	経済観光課	村営	新規
19	前兼久漁港区内ガードレール設置工事	前兼久	単独	経済観光課	村営	新規
20	前兼久漁港海岸導流堤設置工事	前兼久	単独	建設課	村営	新規
21	仲泊小中学校照明増設工事	仲泊	単独	教育委員会	村営	新規
22	安真志原排水改良工事	山田	単独	建設課	村営	新規
23	山田村営住宅工事	山田	補助	建設課	村営	新規
24	山田村営住宅敷地造成工事	山田	単独	建設課	村営	新規
25	山田小中学校屋内運動場新增改築工事	山田	補助	教育委員会	村営	新規
26	山田小中学校屋外運動場照明灯工事	山田	単独	教育委員会	村営	新規
27	歴史の道案内板到設置工事	山田	補助	教育委員会	村営	新規
28	真栄田土地改良完了区内農道舗装工事	真栄田	単独	建設課	村営	新規
29	真栄田船揚場設置工事	真栄田	単独	建設課	村営	新規
30	塩屋方面補修工事	塩屋	単独	建設課	村営	新規
31	久伊地原排水改良工事	宇加地	単独	建設課	村営	新規
32	宇加地海岸護岸工事	宇加地	単独	建設課	村営	新規
33	非核平和宣言塔工事	村内	単独	総務課	村営	新規
34	防犯灯設置工事	村内	単独	総務課	村営	新規
35	交通安全施設工事	村内	単独	建設課	村営	新規

# 平成6年度 施政方針

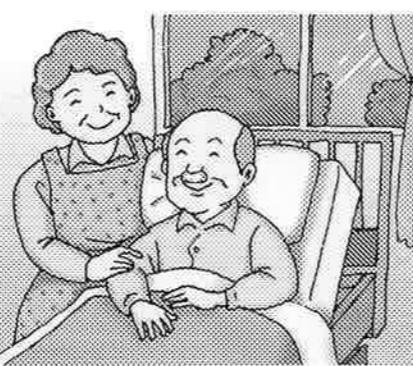


はじめに

平成6年第一回恩納村議会定例会の開会にあたり、平成6年度一般会計予算案をはじめ諸議案の説明を申し上げます前に、平成6年度の村政運営の基本的な考え方と所信の一端を申し上げ議員各位並びに村民のより一層のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

恩納村第三次基本構想に基づき、村政の基本を産業、教育、文化、福祉の協和のとれた村づくりにおいて、今後とも村民のニーズに対処し村民の生活向上に鋭意努力してまいります。

産業、教育、文化、福祉  
調和のとれた村づくり



## 3 庁舎建設について

新庁舎設計画については、村政の重点施策の一環として早期建設に向け積極的に推進しているところであります。

昨年は、庁舎の位置選定についての答申を受け、現在のところ庁舎建設位置選定に関する広聴会を開催するなど、慎重に計画を進めていることはご案内のとおりであります。

平成6年度は、「恩納村庁舎建設構想」「庁舎の位置選定」の答申を尊重しつつ、村民・議会・各種団体のみなさんのコンセサスを得て、新庁舎の位置を決定し長期財政計画や村民負担の問題も考慮に入れ、用地の確保・基本計画・基本設計及び実施設計に向け努力してまいります。

け、消費投資の減退、生産調整、雇用調整等景気は依然として低迷し、経済情勢は大きく変貌しております。

これまで、村民の皆様、議員各位の絶大なるご支援とご協力によりまして、きびしい行財政事情のもとではありましたが、当初計画しました農林水産業の基盤整備、道路、排水路及び河川等の土木事業、公営住宅の建設、教育文化活動及び各学校の施設整備や学力向上

上対策推進事業、庁舎建設の推進、老人・保健・福祉計画策定等に取組み成果をあげてまいりました。

平成6年度においても、前年度に引き続き積極的に各種事業を推進し産業、教育、文化、福祉の調和のとれた行政を行い、村民の生活向上に努力してまいります。

次に具体的な施策について申し上げます。

## 2 財政運営について

財政を取り巻く環境は、長引く経済不況により国も県も税収不足になり四苦八苦している状況があり、国においては、平成4年度には一兆五千万円余の歳入欠陥となり、国債整理基金からの繰入により帳じりを合わせ対処していますが、これは、平成6年度返済義務を生じ、税収不足と併せて平成6年度予算の財源確保が厳しい状況になっております。

このことから平成6年度予算では、一般財源が充当される経常経費の削減が予想され、また地方交付税

総額の抑制方針も出されており地方財政への圧迫は必至の状況であります。

しかし、急速に進展する人口の高齢化や社会資本整備の増大など、今後の社会情勢の変化にいかに弾力的に対応するか課題をかかえております。

歳出では、義務的経費及び投資的経費の増に加え、福祉事業や学校教育施設の増改築事業、庁舎建設等の新規事業が増加してまいります。



このように財政事情のもと、本村の平成6年度予算は、歳入では税収の伸びの鈍化に加え地方交付税増額の要因もなく、財産運用収入(軍用地料)についても、大蔵省の基地対策費の大額削減方針により期待するほどの伸びは見込め

ず、一般財源の確保が厳しい財政状況であります。

また、第三次基本構想、基本計画に基づく諸事業の推進、村民一人一人が豊かさとゆとりを感じさせる魅力ある村づくりや、旺盛な財政需用に応じるため、自主財源の確保に努めるほか、事務事業の見直しや優先順位の選択を行なうなど、財政運営に重点をおき、諸事業を推進できるよう鋭意努力をいたします。

## 4 教育、文化の振興について

二十一世紀に向けて大きく変容する新しい時代に対応できる教育、又、人生八十年といわれる中、生涯学習の重要性も高まっており教育文化、スポーツの果たす役割は大きいものがあります。

その実現のため、校舎、体育館等施設の整備充実を図りながら村立歴史民族資料館の建設を推進しております。

具体的には、次の施策を行います。

### ① 教育施設の整備について

校舎については、平成五年度までに五校とも順次整備してまいりましたが、不適格校舎の改築、既設校舎の防音事業及び付帯施設の整備があります。

屋内運動場については、山田小中学校の屋内運動場が昭和四十八年度に小学校用として建設されました。が二十一年余が経過し既に老朽化しており、小・中クラブハウス事業を取り入れ建設する必要があると思います。



▲平成5年度完成した恩納小中学校体育館

体育施設については、喜瀬武原校の屋外体育倉庫はプレハブで対応しておりますが、破損が著しく、児童生徒の体育事業に支障をきたしております、その整備が急務です。

以上のことをかかげて、平成六年度には、山田小中学校の屋内運動場の新增改築工事、安富祖小中学校の屋外体育倉庫兼トイレ等の工事及び仲泊小中学校校舎の改築に向けて、教育用コンピュータの整備について実施設計を行なっています。

尚、教育用コンピュータの整備については、安富祖、喜瀬武原、山田の各小学校に設置しています。

心豊かな生涯学習社会をめざして、生涯学習を推進し、多様化する学習ニーズに対応する学習機会の拡充を図るため、次のことをおこないます。

一、生涯学習振興大会の開催

二、学習機会の拡充（学級、講座、教育等）

三、関係団体の育成、充実

四、関係委員及び自治公民館長の研修

五、村PTA連合会の育成、家庭

六、文化講演会の開催

## ② 生涯学習の推進について

教育用コンピュータの整備については、小学校において「触れ、慣れ、親しませる」ことを基本にしながら教材の指導効果を高め、クラブ活動での利用を育成するため教育用コンピュータを設置します。

心豊かな生涯学習社会をめざして、生涯学習を推進し、多様化する学習ニーズに対応する学習機会の拡充を図るため、次のことをおこないます。

一、生涯学習振興大会の開催

二、学習機会の拡充（学級、講

座、教育等）

三、関係団体の育成、充実

四、関係委員及び自治公民館長の研修

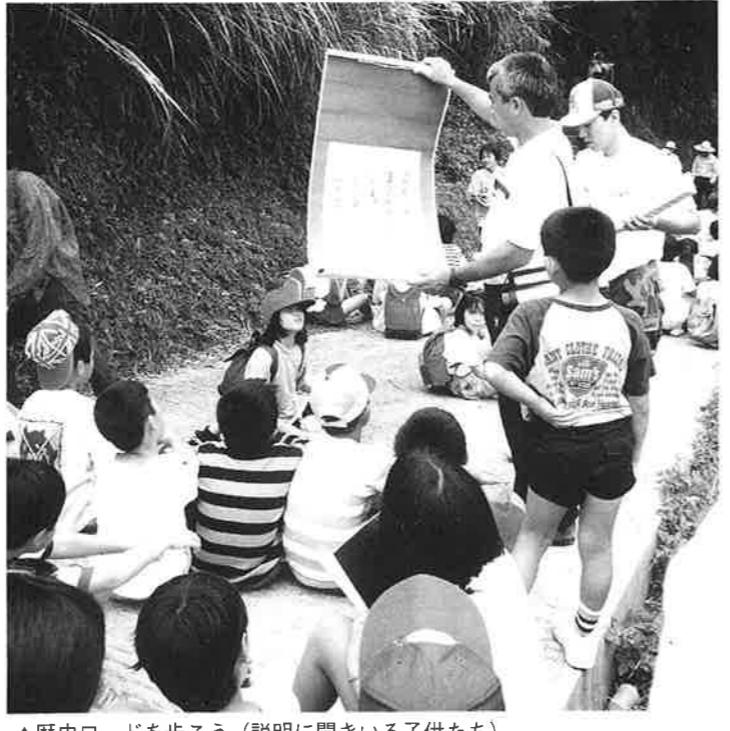
五、文化講演会の開催

六、文化講演会の開催



ヨウ島での無人島体験学習

## 5 産業、経済について



▲歴史ロードを歩こう（説明に聞きいる子供たち）

### ① 林業振興について

更に園芸作目、熱帯果樹等を中心とした施設利用型農業の積極的拡大と栽培管理技術に基づく品質、高収益農業の実現を図りつつ、農業の基本である土づくりを促進してまいります。

土地改良事業は、二地区団体営の土地改良事業を行ないます。

労力の省力化や農道維持管理及び経費節減のため農道の整備及び舗装を実施いたします。

林業労働力の減少、高齢化等の中で林業生産活動は停滞しているが、林業は生産機能としてのみではなく、公益的機能としても重要なことから森林資源の育成事業として、村では天然林改良事業、複層林事業を実施しております。

又、治山事業、保健保安林、防風、防潮保安林事業も推進してま

ります。

更に、緑化用苗木、農地防風林

用苗木の生産も図りつつ、地域森

林計画に基づいた林業経営を継続

して推進してまいります。

### ⑥ 保健体育の振興について

香り高い郷土文化の保存・継承・発展を目指し、次の事をします。

一、村の民族資料の調査

二、歴史の道の整備

三、芸術文化の振興と文化協会の育成

四、村芸能祭及び文化展の開催

五、親子史跡めぐり

健康と体力の維持、促進を図ります。

一、講座、学級、大会等の開催

（親子野外キャンプ、ソフトボーラー、グランドゴルフ、シャトルボーラー、歩け歩こう大会等）

二、村体協の育成

三、体育指導員の活用、充実

四、学校開放事業の推進

農業振興については、コメの自由化、さとうきび買い上げ価格の据え置き、平成六年度からのさとうきびの品質取り引き等、農業を取り巻く状況は厳しいものがあります。

我が村も、農業生産、後継者、担い手不足、高齢化等と深刻な状況ではありますですが土地基盤整備事業で整備された圃場への畑地灌漑

工程、さとうきび買上げ価格の

据え置き、平成六年度からのさ

とうきびの品質取り引き等、農業を

取り巻く状況は厳しいものがあり

ます。

用ダムの促進と農業構造の改善、

強化を図り、さとうきびの土地利

用型農業及び生産性向上による低

コスト農業の実現を目指すため、

今年度からハーベスターによる機械

化一貫作業体系を図つていきたい

と考えております。

そのためには、農作業の委託事

業の組織化促進、農地の流動化事

業を強力に進めてまいります。

化一貫作業体系を図



#### ④ 老人医療について

人生八十年時代を迎える長い人生を有意義に暮らしていくために、心身ともに健康であることが不可欠であります。

高齢者は、一般的に加齢に伴い心身機能の衰え、有病率や受療率が高く、又、傷病別みると高血圧はじめ脳卒中や心臓病など循環器系疾患の占める割合が高いとされています。

これは、日常の健康管理によって防ぎ得る疾病が中心となっていますので健康管理を若年期より日常生活習慣として定着するよう健常教育を推進してまいります。



▲年一回実施される住民健診

## おわりに



▲村花（ゆうな）

以上平成六年度の村政運営に当たり所信の一端を申し述べてまいりましたが、平成六年度も国、県の緊縮財政の中で地方行政も厳しい情勢に直面しています。

しかし、そのような状況の中にあっても一瞬たりとも自治行政の停滞は許されません。

基本構想基本計画の基に「青と

平成六年三月 日  
恩納村長 比嘉 茂政

緑の豊かな活力ある村」づくりに向けて、村当局は勿論、村民の英知を結集し全力を尽くす所存でございます。おわりに村民の皆様議員各位のご指導御協力を心から、お願い申しあげまして私の平成六年度の所信表明といたします。

平成六年度一般会計の当初予算の総額は、四八億三、九二万九千円で前年度に比較して三億九、四二万八千円、七・五%の減となつております。

減となつた主な要因は、普通建設事業に係る県支出金の三億二三〇万二千円及び国庫支出金の一億七、八九八万五千円の減によるものであります。

歳入については、自主財源が二三億六、七九〇万四千円で歳入総額の四九%、前年度に比較して三・一%の伸びとなりており、要因につきましては、財産収入四、七八九万円、四・一%及び村税二、八九〇万円、二・九%並びに使用料及び手数料五二六万三千円一八・四%等の増によるものです。

歳入につきましては、固定資産税の増により前年度に比較して減となつております。

依存財源は、二四億七、一五二四万円で歳出総額の三二・一・五%及び公債費六六五萬円で歳出総額の三二・

二三二万五千円で歳入総額の五一%となつております、前年度に比較しますと四億六、九二二万四千円、

比較ますと四億六、五三八万円、一五・八%の減となつております。

その要因につきましては、

県支出金三億二三〇万二千円、五三%及び国庫支出金一億七、八九八万五千円、一六・九%

円、二二・八%の減となつています。

また、増となつておるのは、

村債一、八一〇万円、一二・二%及び地方交付税二九七万円、〇・二%並びに地方譲与税一三八万三千円、二・一%

等があります。

歳出では、消費的経費が二八億七、〇〇〇万二千円で歳出総額の五九・三%で、前年度に比較しますと一億五、八六六万一千円、五・九%の伸びとなつております。増となつた要因につきましては、物

件費八、五三九万三千円、一三・七%、補助費等四、四九八万五千円、六・一%、扶助費一、三〇九万三千円、一一・七%等の伸びによるものです。

投資的経費は、一五億八、三五二四万円で歳出総額の三二・一・五%及び公債費六六五萬円で歳出総額の三二・

円五・〇%があります。

本年度当初予算の特徴と致しましては、歳入で村民税が個人住民税の特例減税により減となりましたが固定資産税の伸びにより、村

税の総額は前年度に比較しまして二・九%の伸びとなつたこと、普通建設事業の補助事業に係る国、県支出金の大幅な減により、当初予算額が前年度に比較しまして七・五%の減となつたことがあります。

一方、単独事業で継ぎ足し単独分を含めると地方財政計画の伸び率一二%をこ

える一五・八%の伸びとなつております。

本年度も、財源の重点的、効率的な配分を図り経費の徹底した節減合理化に努め、

計画的に安定した財政運営に努めてまいります。

また、増となつておいますのは、繰出金一、九八二万円、三一・五%及び公債費六六五萬円で歳出総額の三二・



# 平成6年度

# 一般会計予算概要

ゴルフ場利用税交付金 118,887 2.5%	利子割交付税 9,516 0.2%
交通安全対策特別交付金 1,500 0.1%	
国有提供施設等所在市町村助成交付金 68,801 1.4%	
自動車取得税交付金 8,375 0.2%	
特別地方交付 61,308 1.3%	
県支出金 267,628 5.5%	
存 財 源 51.0%	自 主 財 源 49.0%
國庫 支 出 金 879,392 18.2%	財 產 收 入 1,178,742 24.4%
地 方 交 付 税 822,114 17.0%	自 主 財 源 21.4%
諸 収 入 23,262 0.5%	使 用 料 及 び 手 数 料 33,801 0.7%
繰 越 金 30,000 0.6%	利 子 割 交 付 金 9,516 0.2%
繰 入 金 23,262 0.5%	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金 118,887 2.5%
寄 附 金 1 0.0%	特 別 地 方 諸 費 税 交 付 金 61,308 1.3%



(単位：千円・%)



歳 入 (単位：千円・%)

財源別	款 别	本年度予算額	財源別割合	予算構成比	前年度予算額	対前年度比較
自 主 財 源	村 税	1,036,430	43.7		1,007,530	2.9
	分担金及び負担金	41,845	1.8	21.4	41,292	1.3
	使用料及び手数料	33,801	1.4	0.9	28,538	18.4
	財産収入	1,178,742	49.8	0.7	1,130,850	4.2
	寄附金	1	0.0	24.4	1	0.0
	繰入金	23,823	1.0	0.0	29,003	-17.9
	繰越金	30,000	1.3	0.5	30,000	0.0
	諸収入	23,262	1.0	0.6	29,438	-21.0
	計	2,367,904	100.0	0.5	2,296,652	3.1
	合 計	4,839,129		51.0	5,233,257	-7.5
100.0						

歳 出 (単位：千円・%)

経費別	区 分	本年度予算額	財源別割合	予算構成比	前年度予算額	対前年度比較
消費的 経費	人 件 費	1,104,985	38.5	22.8	1,095,439	0.9
	物 件 費	710,064	24.7	14.7	624,671	13.7
	維持補修費	53,456	1.9	1.1	57,812	-7.5
	扶助費	233,294	8.1	4.8	210,201	11.0
	補助費	768,203	26.8	15.9	723,218	6.2
	小 計	2,870,002	100.0	59.3	2,711,341	5.9
	補助事業	1,196,541	75.5	24.7	1,701,896	-29.7
	単独事業	388,684	24.5	8.0	352,554	10.2
	計	1,585,225	100.0	32.8	2,054,450	-22.8
	災害					
投資的 経費	補助事業	0	0.0	0.0	0	0.0
	単独事業	15	0.0	0.0	14	7.1
	計	15	0.0	0.0	14	7.1
	小 計	1,585,240	100.0	32.8	2,054,464	-22.8
	その他 の 経 費					
その 他 の 経 費	公債費	139,406	36.3	2.9	132,756	5.0
	積立金	136,085	35.4	2.8	234,031	-41.9
	投資及び出資金	1,339	0.4	0.0	13,308	-89.9
	繰出金	82,817	21.6	1.7	62,997	31.5
	貸付金	9,240	2.4	0.2	9,360	-1.3
	予備費	15,000	3.9	0.3	15,000	0.0
	小 計	383,887	100.0	7.9	467,452	-17.9
	合 計	4,839,129			5,233,257	-7.5